



保存

天野先生報告書

天野先生報告書

淑女ならびに諸君！

さきにとダート博士を団長とする米國教育使節団を迎えてより四年

本日こゝに再びギブンス博士を団長とする第二回米國教育使節団の來訪を迎えて歓迎感謝の言葉を陳べる機会を与えられましたことはわたくしにとつてまことに光栄であると共にまた深い感慨を禁じえないこととございます。感慨の深いものがあるというのは第一回使節団をお迎えした当時の文部大臣安部能成氏より以降わたくしは既に七人目の文部大臣であるという事実によつても、わたくし達はこの間におけるわが國の國家的苦悶をつぶさに感覺するからであります。

一九四六年はじめて米國教育使節団の來朝せられました時は、日本國民が戦争の悪夢より醒めて茫然自失、虚脱状態に在つた時期でありました。まだ嘗つて敗戦の苦難を知らず、戦えば必ず勝つものと考え、軍部の虚妄誇大な宣伝を信じて來た一般の國民は無条件降伏という威肅な歴史の審判によつて世界の面前にうちのめされ、生きゆく道の道標を見失つてしまつたのであります。その際この戦争に關して日本識者の犯した多くの不道理を反省し、敗戦をもつて当然の歴史的審判と認め、さらに國家再建の原理が教育の振興に在ることを今更の如くに強く認識したのであります。一般にわが國の戦争責任は軍部にあると言われています。確かに軍部が主要な責任者であります。しかし軍部の横暴を許容したものは國民全体でなければなりません、それ故に究極する所、國民一般の知性的。道徳的教養水準の低さが國家衰滅の眞の原因であつて、教養水準の向上に対する唯一の方法である教育こそ實に國家興隆の原動力でな

ければならぬことを識者は痛感したのであります。

あたかもこの秋に当りわたくし遂に日本教育の在り方を明示して下さつたものは教育使節団の勸告でありました。固よりわたくし遂はその勸告に強制されたわけではなく、自己の判断によつて進んでそれに従い、
。I世、の指導の下に教育刷新審議会及び政府（文部省）は一体となつて教育改革の實際的方針を採究し、その実施に最善の努力をしてまいつたのであります。幸いにして全国民の力強い支持と協力の上にわが國における教育民主化の体制は著々として整備されてまいりました。一九四七年（昭和二十二年）の教育基本法及び学校教育法の実施によつて新教育の理念と原則とは宣言され、新学校制度が施行されるに至りました。義務教育年限は延長され、複雑多岐な学校制度は整理され、これによつ

て國民の教育を受ける機会は著しく増大されたものと信じます。一九四八年（昭和二十三年）にはわが國として全く新しい教育委員会が全国的に発足するに至り、國民から選出された新委員は教育の自主性を確保すると共に教育と國民とを直結する重大な使命を果しつゝあります。またその間における教育方法の改革、教員養成制度の確立等によつて教育界に著しく清新の氣が漲るに至りました。文部省は今や教育を支配する統制機関ではなく、全國の教育に対し助言と指導とを与えるという重大な新使命を担うこととなつたのであります。一九四九年（昭和二十四年）には新学制の頂点たる新制大学が発足し、全國の国立、公立、私立の大学はそれぞれその整備に格段の努力をいたしつゝあるのであります。

かくして米國教育使節団の各位は僅か四年余にしてわが國教育界がそ

の相貌を一変したことを発見されるでありましょう。わたくしはわが国民が他の方面におけると同様教育の民主化のために最善の努力をしてきたことを信じます。使即函各位もまたこの点について評価をおしまれな
いと信じます。しかしあらゆる善意の努力にも拘らず、なお改革の途上
において混乱や失敗や過誤の少くなかつたことを認めざるをえません。
またわたくし達の氣付かない幾多の欠陥もあることでしよう。これらの
点について各位が率直な助言をおしまれなければ、わたくし達はさら
に改善の努力をいたすでありましょう。要するに教育革新は僅かに形式
の整備にとどまり幾多の問題を残しております。わけても敗戦後の経済
的。物質的困窮のさ中に出発した教育改革に財的基礎を与え、さらに進
んで教育費を確保することは教育者ならびに全国民の一大関心事であり
ます。言うまでもなく教育財政問題の強力にして十分な解決なくしては
教育改革の完成は期しえられないのであります。

思うに、わたくし達日本人がこの惨憺たる敗戦によつて学んだ最大の
教訓は、一切の不道理が歴史の審判に堪えぬという事実にありました。
真理こそ最後の勝利者であるという歴史に対する信頼でありました。恐
るべきものは人間の權勢ではなくして神の意志であるという反省であり
ました。わたくし達はこの信念を抱いてあらゆる困難に立ち向い、文教
の振興に由つて国家の再建を期する考でございます。各位の御示教をお
願いすると共に、各位の御健康を祈つてわたくしの御挨拶を了りたいと
思います。

